

## 発展的評価項目＜独自評価項目＞

～事業所におけるサービスの質の向上のためのシステムについての評価結果です～

事業所名： 虹の家

取り組み

地域と共生し地域のコミュニティの場となる

取り組み期間

5年4月～  
5年11月

PDCA	取り組みの概略
「P」 目標と 実践計画	<p>コロナ禍により施設が閉鎖的環境になってしまっている。利用者も外出の機会が制限され、交流の機会がなくなってしまう。コロナウィルスの5類移行を受けて、段階的な施設の開放、見える化を進めていきたい。そこで、長期目標に「いつでも地域の方々が、虹の家のことを知り気兼ねなく訪れることのできる場となる」ことを置き、短期目標に「年間を通した、継続的な取り組み（地域美化活動、野菜販売、花いっぱい咲かせよう活動）」をあげ、取り組みを実践した。</p>
「D」 計画の実践	<p>年間計画に基づき、利用者と職員が地域の美化活動、野菜販売、花いっぱい咲かせよう活動への取り組みを実施することにした。各部署の会議体を利用し、進捗状況の確認や新たな計画案の検討を行いながら、情報を共有し、実践につなげていくことにした。</p>
「C」 実践の評価	<p>計画は予定通り実施できた。年間計画を基に、現在も計画的に実施しており、地域美化活動においては、地域の方々から感謝の言葉も頂けるようになってきている。野菜や花に関しては、計画的に実施できない時期もあったが、しっかりと原因を確認していきながら進めている。取り組みにより、虹の家を知ってもらう機会にはつながっていると認識している。ただし、コミュニティの場には、まだまだ遠い状況ではないかと考えられ、継続的な取り組みが必要であると捉えている。</p>
「A」 結果と 改定計画	<p>テーマを進める中で、取り組みは継続的に進める必要があること、また、地域のニーズをしっかりと把握して対応していける施設になることが必要であることがわかった。また、思いがけない効果として、家族に食事の体験会を開催したが、言葉での報告だけでなく、施設の状況をより感じる機会になったと多くの意見を頂くことができた。食事の体験会は、地域の方々に広げることでもでき、次年度の事業計画に位置付けていく予定である。地域と共生し、地域のコミュニティの場となるよう、取り組みは継続して行うこととした。</p>

### ＜第三者評価コメント＞

地域と共生し、施設が地域のコミュニティの場となるよう取り組んでいる。取り組みは継続することので、今後の発展に期待する。

## 課題抽出項目＜独自評価項目＞

～内容評価項目について、次への取り組みを事業所が検討した結果です～

事業所名： 虹の家

内容評価項目の＜A2:利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている＞を取り上げ、今後の具体的な取り組みを検討した結果です。

### 事業所による取り組み

<p>＜A2:利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている＞</p>	<p>自己評価の内容</p>	<p>＜現在の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画書に、権利擁護に対する取り組みを記載し、全職員で読み合せを行っている。新聞やニュースに権利侵害の事件が出た時には、その都度、朝・夕の引継ぎ時に、職員間で内容を確認している。利用者には「みんなの会」で周知している。また、外部の権利擁護研修や、施設内研修で再確認している。職員が自己点検チェックシートに取り組み、結果は、2ヶ月に1回開催する障がい者虐待・身体拘束防止委員会で集計し、事務室内に掲示したり、パソコンで閲覧できるようにしている。</li> </ul> <p>＜話し合いの中で次の意見が多くあがった＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①定期的に内部研修を実施しているが、自身や他職員の実際の支援を振り返る機会を持っていないのではないかと。</li> <li>②障がい者虐待・身体拘束防止委員会を中心に虹の家として、更なる取り組みとして何が出来るか。</li> </ol>
	<p>自己評価で気づいたことについての今後の具体的な取り組み</p>	<p>＜今後の具体的な取り組み＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①定期的に全職員を対象に「自己点検チェックシート」を配布・集計し、自身・他職員の支援を客観的に判断していただく機会を持っているが、今後更なる全職員の「接遇の向上」「丁寧な言葉遣い・支援の意識付け」を図るため、利用者、職員からより良い接遇を行えている職員を推薦していただく。</li> <li>②職員だけでなく、保護者やオンブズマン等の第三者の目線や意見を日々の支援に活かすとともに、全職員の「丁寧な言葉遣い・支援の意識付け」「ご利用者の生活の質の向上」を図るため、引き続きオンブズマンの来園時に面談等のご利用者 と接する機会を設定するとともに、施設の開放を実施し保護者に限らず、ボランティアの受け入れ等、施設内や活動見学等の機会を設定していく。</li> </ol>

### ＜第三者評価コメント＞

利用者の権利擁護に関する取り組みについて、次の計画を話し合い、今後の具体的な取り組みを決めている。取り組みの成果に期待する。